

環境調査結果のお知らせ

令和3年6月10日午前に野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が20.9～24.3℃、塩分が31.5～34.1、溶存酸素量が6.3～8.5mg/Lでした。
湾内の透明度は3.6～5.6mで、有害種のカレニア・ミキモイが最高で3cells/mL、ケラチウム属が最高で7 cells/mL、コクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で30cells/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は20.9～24.3℃、塩分は31.5～34.1でした。
前回調査時(R3.5.20)と比較して、水温は全層で1.7～3.1℃上昇しました。塩分は0m層から10m層で0.1～1.7 上昇し、底層で0.1低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.3～8.5mg/Lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層と2m層で前回と同様の値を示し、5m層から底層で0.1～ 0.5mg/L低下しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は3.6～5.6mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で3cells/mL、ケラチウム属が最高で7cells/mL、コクロ ディニウム・ポリクリコイデスが最高で30cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導 所または水産試験場までご連絡ください。

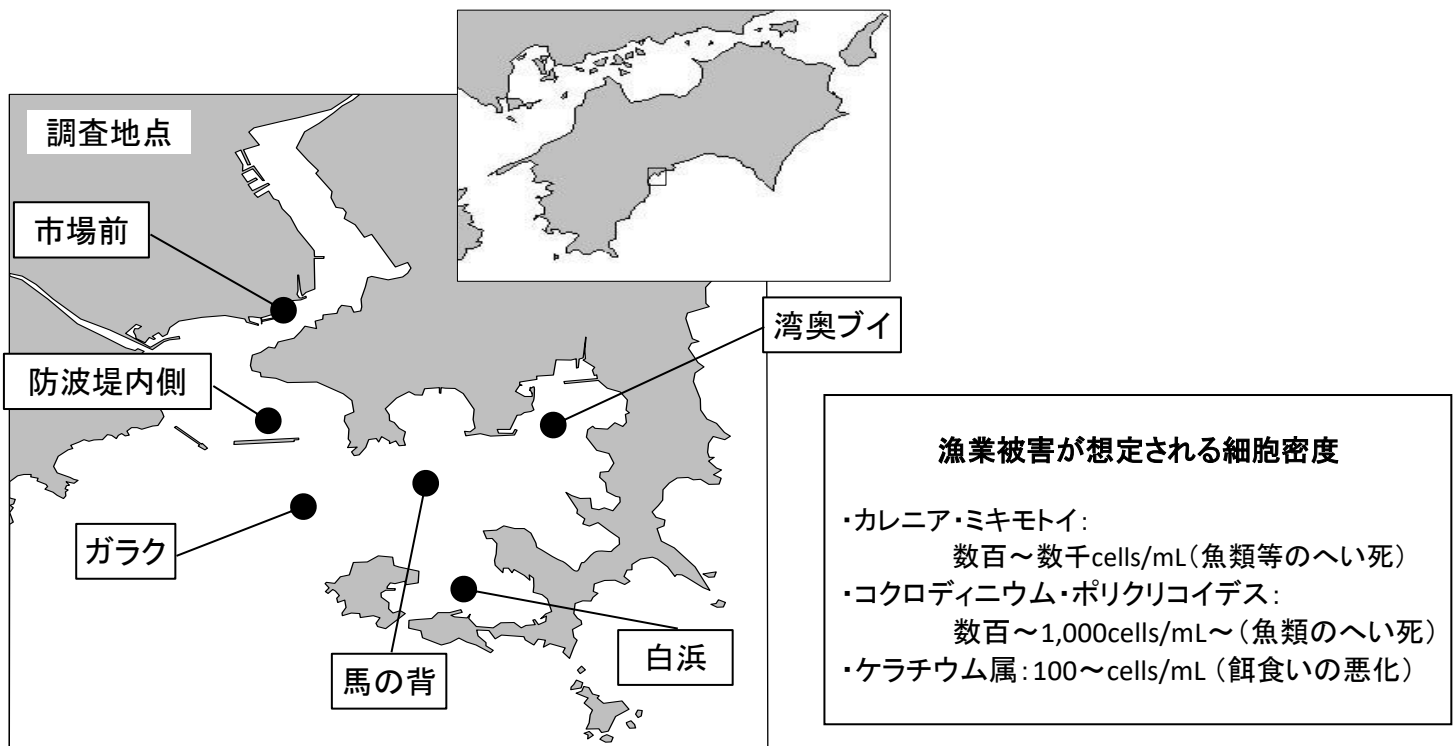


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.5.20)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	24.3	24.3	23.2	23.9	20.8	3.1	23.6	23.7
2m	23.7	23.8	23.0	23.5	20.7	2.8	22.9	22.9
5m	22.0	22.0	22.0	22.0	20.2	1.8	22.0	21.9
10m	21.3	21.6	21.7	21.5	19.8	1.7	0.0	0.0
B-1m	21.0	20.9	21.5	21.1	19.2	1.9	21.5	21.4

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.5.20)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	31.5	31.5	31.5	31.5	29.8	1.7	30.9	28.0
2m	31.6	31.7	32.1	31.8	31.7	0.1	31.7	30.9
5m	32.8	33.0	33.2	33.0	32.9	0.1	32.6	32.7
10m	33.8	33.8	33.9	33.8	33.6	0.2	0.0	0.0
B-1m	34.1	34.1	34.0	34.1	34.2	▲ 0.1	33.4	33.6

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.5.20)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	8.4	8.0	7.3	7.9	7.9	0.0	8.5	8.3
2m	8.5	7.8	7.6	8.0	8.0	0.0	8.4	8.3
5m	8.1	7.2	6.8	7.3	7.7	▲ 0.4	8.0	7.6
10m	6.3	6.9	7.1	6.8	7.3	▲ 0.5	0.0	0.0
B-1m	6.6	7.1	7.0	6.9	7.0	▲ 0.1	6.8	6.6

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.3	23.8	14.8	10.3	10.7
透明度	5.2	5.0	5.6	5.5	3.6
前回(5/20)	4.6	5.2	5.1	3.4	3.2

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモイ	ケラチウム属	コクロディニウム・ボリクリコイデス	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	3
	2m	0	0	0	14
	5m	0	0	26	13
馬の背	0m	0	0	0	3
	2m	0	0	0	28
	5m	0	5	0	15
ガラク	0m	0	0	0	12
	2m	1	0	0	10
	5m	0	1	4	9
津波防波堤内側	0m	0	1	0	4
	2m	1	0	0	9
	5m	0	0	30	14
市場前	0m	0	0	0	10
	2m	0	1	0	13
	5m	3	7	0	1
白浜	2m	1	0	0	42
	5m	0	0	26	5